

# 自動車運行管理業務委託仕様書

## 1 件名

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団 自動車運行管理業務

## 2 委託業務概要

本業務は、社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団（以下「発注者」という。）が保有する自動車の運転、日常点検及び維持管理の手続等の運行管理業務を委託するものである。

主な業務内容は、発注者の運営する七沢学園、七沢療育園、七沢自立支援ホーム、神奈川県リハビリテーション病院等の各施設が、神奈川県内（近県を含む）で行う訓練、レクリエーション行事、患者の搬送等などの送迎業務である。

送迎する対象者は、発注者職員、福祉施設利用者及び病院患者である。

## 3 委託業務内容

委託業務の内容は、次の各号のとおりとする。

- (1) 発注者が保有する車両（以下「発注者車両」という。）の運行管理
- (2) 送迎時における患者・利用者等の車いすの固定及び乗車時における支援
- (3) 運転日報の作成
- (4) 発注者車両の日常点検整備
  - 運行前及び運行後点検を行うこと。
  - 管理車両の清潔を保つこと。
  - 簡易な修理や調整を行うこと。
  - 車両の整備状況については、事業団の定める様式により日々報告すること。
- (5) 発注者車両内の搭載物及び運転員控え室の備品の適切な保管管理
- (6) 発注者車両の燃料供給（発注者が指定するガソリンスタンドにおいて給油する。）
- (7) 運行管理時の事故処理及び発注者等への報告
- (8) その他前各号に付帯する事項

## 4 委託業務実施場所

神奈川県厚木市七沢 516

社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団

## 5 委託期間

令和8年4月1日から令和10年3月31日までとする。（2年間）

## 6 委託業務日及び業務日1日当たりの業務時間

### (1) 委託業務日

月曜日から金曜日を原則とするが、各施設の訓練等により土曜日、日曜日、祝日に送迎業務を依頼する場合がある。その場合には、業務時間数に応じて（2）で定める業務超過分（時間外手当）を契約額とは別に支払う。また、降雪等の緊急時に車両の運行が可能な場合は送迎業務を依頼する場合がある。

(委託業務除外日)

ア 土曜日及び日曜日 (原則)

イ 国民の祝日に関する法律 (昭和 23 法律第 178 号) に規定する休日 (原則)

ウ 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

(2) 業務日一日当たりの業務時間

8 時 30 分から 17 時 15 分まで (ただし、うち 1 名は 8 時 15 分から 17 時まで) を一日の業務時間とする。

休憩時間は 12 時から 13 時までの 1 時間を原則とするが、配車スケジュールの状況に応じ、適宜時間帯を調整し取得するものとする。

一日の業務時間を超える業務 (時間外業務) を行う場合は、発注者の定める様式により事務局総務課に報告することとする。また超過した時間数に次の単価を乗じた額を業務超過分 (時間外手当) として契約額とは別途に請求することができる。

ア 平日の 5 時から 22 時までは、1 時間当たり単価を 1,540 円 とする。

イ 平日の 22 時から翌日 5 時までは、1 時間当たり 1,840 円 とする。

ウ 土日祝日の 5 時 00 分から 22 時までは、1 時間当たり 1,660 円 とする。

エ 土日祝日の 22 時から翌日 5 時までは、1 時間当たり 1,960 円 とする。

オ 以上ア～エの時間外手当は、毎月月末締めで請求する。

## 7 配置人員

(1) 常時 4 人を配置すること。(配置職員体制の内 70 歳以上は半数以下とすること。)

(2) 前号のうち 3 人は、乗車定員 18 人及び乗車定員 29 人の車両を運転できる者とし、このうち 1 人の勤務時間は 8 時 15 分から 17 時までとすること。

(3) 不測の事態により欠員が出る場合には、速やかに代替人員を確保し対応すること。

(4) 配置される社員等の経歴書を業務開始日までに発注者に提出すること。

## 8 受注者の要件

(1) 本業務を支障なく行うとともに、迅速かつ安全に良質なサービスを提供できる人員体制を備えていること。

(2) 道路運送法、道路運送車両法、労働基準法などの法令等並びに自動車運行管理の業務に必要な知識及び能力を有し、官公庁又は民間企業等における自動車運行管理業務を良好に履行した実績を有すること。

(3) 令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日までの間において、免許停止等の行政処分を受けていない社員等を配置できること。

## 9 運行車両

運行車両は、発注者が保有する「別添 1 車両一覧表」に記載の車両とする。

なお、発注者の事由により保有車両に変更が生じた場合は、その都度提示する。

## 10 運行車両の任意保険

任意保険加入は発注者が加入するが、別添 2 のとおり受注者の受益分として発注者が指定する車両の保険料については受注者の負担とする。

## 11 車両の運行及び管理

車両運行の当日スケジュールについては、事務局総務課から前日 17 時 15 分までに連絡

することとする。

- (1) 車両運行中は道路交通法等の関係法令の規定を遵守すること。また、目的地までの合理的な経路及び近隣駐車場等の位置を把握し、安全かつ効率的な運行を行うこと。
- (2) 原則として車両運行中は車両から離れてはならない。やむを得ず車両から離れなければならない場合には盗難及び損傷の防止等の措置を講ずること。
- (3) 車両運行状況報告については、事業団の定める様式により日々報告することとする。  
なお、緊急事態発生時及びそれに付随する事態が発生した場合についてはその都度報告すること。
- (4) 上記「3 委託業務内容」に定める業務以外に事業団車両を使用してはならない。

## 12 交通事故発生時の対応

- (1) 受注者の運転時における交通事故が発生した場合は、受注者は速やかに負傷者の救援、危険防止措置、警察への通報及び相手方の確認等、事故現場において道路交通法関係法令に基づく必要な措置を講じた上で、車両管理責任者へ連絡し指示を求めなければならない。車両管理責任者は速やかにその旨を事業団へ報告しなければならない。  
また、相手方には誠意を持って対応し受注者の責任において適切に事故を処理するとともに発注者の定める様式によりその経過を後日速やかに報告しなければならない。
- (2) 受注者が相手方及び発注者に及ぼした損害に対する賠償金等については、発注者で加入している任意保険により負担する。受注者に起因する事故による任意保険の適用外となる損害が発生した場合には、発注者は事故の状況に応じて車両修繕費及び車両修繕に要する期間の代車費用を受注者に求償するものとする。

## 13 業務の引継及び習得業務

- (1) 新たな受注者は、委託業務の引継及び業務内容の習得を目的として、当該業務の開始1週間前（引継等の日程調整は事業団の指示による）から、現行の受注者と共に業務を行いその内容を習得しなければならない。
- (2) 新たな受注者は、令和8年4月1日以降の業務の遂行にあたり遺漏、混乱のないよう、事務局総務課担当者及び現行の受注者と綿密な打ち合わせを行い、委託業務の引継にあたなければならない。なお、(1)に記載の内容を含め、このことについて発生する一切の費用については新たな受注者が負担するものとする。
- (3) 現行の受注者は、上記(1)及び(2)に記載の一切の内容について協力しなければならない。

## 14 委託業務料の支払い

- (1) 受注者は毎月月末締めで消費税分を加算した請求書を作成し発注者に提出すること。  
なお、超過時間料金については明細書を添付すること。
- (2) 発注者は受注者の適正なる請求書を受領した日から60日以内に受注者指定の口座に振り込むものとする。

## 15 損害賠償

受注者は、故意または重大な過失により発注者に損害を与えた場合は、関係法令の定めるところにより賠償の責めを負う。

## 16 その他

その他、業務に関連する事項について「別添3 自動車管理要領」に定めるほか、発注

者と受注者で調整等が必要な際には適宜協議する。

## 17 注意事項

- (1) 業務上知り得た発注者の事業に関する一切の事項について、第三者に漏洩してはならない。
- (2) 運行業務以外の時間は発注者敷地内の運転員控室で待機すること。点検整備等のために控室を空ける際には事務局総務課に報告すること。
- (3) 発注者が定める敷地内及び発注者車両内での喫煙は禁止する。
- (4) 受注者が本業務を第三者に委託することは禁止する。

## 車 両 一 覧 表

No.	登録番号	車 名	車種	車両重量	総排気量	乗車 定員	初度登録 年 月 日	用途
				総 重 量	燃 料			
1	相模800せ3921 (リース車両)	ニッサン シビリアン	身障車 (リフトバス)	3,920 kg	4,470cc	18 (4)	令和2.02	特種
				4,910 kg	ガソリン			
2	相模200さ406 (リース車両)	日野 リエッセ	マイクロバス	3,320 kg	4,160cc	29	平成15.12	乗合
				4,915 kg	軽 油			
3	相模501ふ6923 (リース車両)	トヨタ ノア	乗用車	1,620 kg	1,980cc	7	平成21.03	乗用
				2,005 kg	ガソリン			
4	相模800す530 (リース車両)	トヨタ レジアスエー ス	ハンディキャブ (ワンボックス)	2,180 kg	1,990cc	10 (2)	平成16.12	特種
				2,730 kg	ガソリン			
5	相模800す2407 (リース車両)	トヨタ レジアスエー ス	ハンディキャブ (ワンボックス)	2,110 kg	1,990cc	10 (1)	平成18.06	特種
				2,660 kg	ガソリン			
6	相模501せ5199 (リース車両)	トヨタ ヴォクシー	乗用車	1,560 kg	1,980cc	8	平成21.12	乗用
				2,000 kg	ガソリン			
7	相模580く621	ダイハツ タント	軽自動車	910 kg	650cc	4(1)	平成19.06	乗用
				1,130 kg	ガソリン			

注1 乗車定員の（ ）書きは、車イスの乗用台数である。

(新規納車車両：納車日令和7年12月)

8	未定 (リース車両)	ダイハツ ミライース	軽自動車	650 kg	658cc	4	令和7.12	乗用
					ガソリン			

(No.3, 6車両入替：納車日令和8年4月)

3	未定 (リース車両)	トヨタ ノア (ハイブリッド車)	乗用車			7	令和8.4	乗用
					ガソリン			
6	未定 (リース車両)	トヨタ ノア (ハイブリッド車)	乗用車			8	令和8.4	乗用
					ガソリン			

## 任意保険料負担割合一覧(年間)

区 分		委託先(受注者)が 負担すべきもの	事業団(発注者)が 負担すべきもの	合 計
事業団所有	リフトバス(ニッサンシビリアン 3921)	100.0 %	- %	100.0 %
		85,320 円	- 円	85,320 円
	マイクロバス(日野リエッセ 406)	100.0 %	- %	100.0 %
		120,984 円	- 円	120,984 円
	乗用車(トヨタノア 6923) 2025/11/1～2026/3/31	100.0 %	- %	100.0 %
		52,810 円	- 円	52,810 円
	乗用車(トヨタノア:HEV 7人) 2026/4/1～2026/11/1	100.0 %	- %	100.0 %
		77,553 円	- 円	77,553 円
	ハンディキャブ(トヨタレジアスエース 530)	100.0 %	- %	100.0 %
		190,224 円	- 円	190,224 円
	ハンディキャブ(トヨタレジアスエース 2407)	100.0 %	- %	100.0 %
		230,196 円	- 円	230,196 円
	乗用車(トヨタVOXY 5199) 2025/11/1～2026/3/31	- %	100.0 %	100.0 %
		- 円	48,900 円	48,900 円
乗用車(トヨタノア:HEV 8人) 2026/4/1～2026/11/1	100.0 %	- %	100.0 %	
	71,288 円	- 円	71,288 円	
軽自動車(ダイハツミライース)	- %	100.0 %	100.0 %	
	- 円	未定 円	未定 円	
軽自動車(ダイハツタント 621)	- %	100.0 %	100.0 %	
	- 円	87,888 円	87,888 円	
任意保険料負担額		828,375 円	136,788 円	965,163 円

※入替車両の車台番号が確定しないと正確な保険料になりませんので、若干の保険料誤差が生じます。

## 自動車管理要領

## 1 請負車両の管理方法について

- (1) 運転者は請負車両の管理について善良なる管理者の注意をもって行い、請負業務以外の目的に使用してはならない。
- (2) 車両管理は連行前点検から運行後の点検、清掃までとし、運転者は常に請負車両を清潔に保ち、適正な給油及び簡易な後処理、調整等を自ら行い、点検整備につとめなければならない。
- (3) 車両管理責任者は、前項の管理が適切に行われるよう、随時、運転者を通じて請負車両の現状を確認すること。
- (4) 燃料は発注者が指定する給油所において、指定するものを給油すること。
- (5) 請負車両が運転の途中故障し修理等に長時間を要する場合、又は救援を要する場合に速やかにその旨を車両管理責任者に連絡し、指示を受けなければならない。

## 2 請負車両の保管方法及び保管場所について

- (1) 運転者は請負車両の保管について、善良なる管理者の注意をもって行わなくてはならない。
- (2) 請負車両は終業後直ちに指定された車庫(場所)に格納しなければならない。
- (3) 運転者は請負車両を格納したときは、直ちにエンジンスイッチから鍵を取り外し、全ての鍵の施錠を確認して、盗難及び損傷防止のための措置を講じ、鍵を運転員控室内の所定場所に保管しなければならない。
- (4) 運転者は運行中、請負車両から離れてはならない。ただし、やむを得ず車両から離れる場合には、上記(3)に準じて盗難及び損傷防止の措置を講じなければならない。
- (5) 請負車両の保管場所は、事業団車庫棟駐車場とする。ただし必要に応じて事業団が指定する別の場所に変更することがある。

## 3 事故発生時の対応について

運転者は、交通事故が発生した場合、速やかに負傷者の救援、危険防止措置、警察への通報、相手方の確認等、事故現場において必要な措置を講じた上で速やかに車両管理責任者へ連絡し、その指示を受けなければならない。

4 業務の指揮命令系統について  
下図のとおりとする。